

事業所名 放課後等デイサービス 星の王子さま

支援プログラム

作成日

令和7年

2月

28日

法人（事業所）理念	介護が必要な障がい者・高齢者 療育が必要な障がい児 自立支援が必要な若者など その介護者・保護者が心身ともに健やかで、当たり前の生活ができるようにその支援に関する事業を行い、社会全体の利益の増進に寄与することを目的とします。						
支援方針	①一人ひとりの特徴に合わせて支援していきます ②ほめられることを積み重ねることによってうまれる自己肯定感を養っていきます ③将来、社会自立をするために友達や職員とのいろいろな関わり方を通じて、コミュニケーション能力を高めます						
営業時間	8時	30分	17時	30分	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 生活の基本となる健康状態の把握をきめ細やかにを行い、心身ともに健康的に育み、安心して日常生活や社会生活を送れるよう支援を行います。 日常生活における基本的な生活スキル（食事、排泄、睡眠、衣類の着脱、身辺整理など）の習得を目指し、自分でできることを増やしていきます。 障がいの特性に配慮し、視覚支援などの構造化等による生活環境の設定に取り組みます。 					
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 粗大運動（散歩、戸外活動等）を行う機会を設け、体幹や筋力の強化を行い、適切な姿勢の保持につながるよう支援を行います。 季節の製作活動などを行い、指先の感覚を養うとともに、目と手の協応を育みます。 感覚の過敏や鈍麻を把握し配慮した上で、保有する感覚の統合を促し、生活のQOLの向上を目指します。 					
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 感覚を有効に活用し、空間や時間などの概念を手がかりとして周囲の状況を把握したり、環境と自己との関係を理解したりして、適切な行動ができるように支援を行います。 認知機能の活性化を促進するために、さまざまな体験や経験を積み上げ、自分で考えて選択し行動につなげる力を養います。 一人一人の認知の特性を理解し、感覚や認知の偏りからくる行動障害を予防したり、緩和できるように努めます。 					
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 「話す」力と「聞く」力を高めることによって、語彙力の向上を促し、言語の受容と自発的な発言のための支援を行います。 小集団での簡単なルールのある遊び等を通して、周りの人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得を目指します。 文字や数字を読み取り理解を深めるために、障がいの特性に配慮しながら読み書きの能力を高めます。 					
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> 他者に興味を持ち信頼感を育む経験ができるように、遊び等を通じて社会性の発達や対人関係の構築を促します。 集団において自分や周りの状況を把握し、適切な行動をとることで得られる自己有能感を養います。 自分の感情や気持ちに気づき、自己コントロールを円滑に行い、その場の状況に応じた行動ができるように支援を行います。 					
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> 家族からの相談に対する適切な助言や支援方法の提案 保護者同士の交流を目的とした親子交流会の実施 定期的な面談において成長の確認（再認識）や気づき 			移行支援	<ul style="list-style-type: none"> ライフステージの切り替えを見据えた将来的な移行に向けた準備 進路先や移行先への情報提供等 併用利用先や学校との情報共有や支援のすり合わせ 		
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> 連携した支援を行うための教育機関の関係者との担当者会議等に参加 児童相談所や相談支援事業所等の専門機関との連携 			職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> 外部で行われる研修に参加 事業所に講師を招いての研修会を実施 		
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> 親子交流会 季節の行事（初詣、節分、お花見、イースター、七夕、夏祭り、ハロウィン、クリスマス会） 体験活動（買い物体験、カラオケ体験、就労施設等見学など） 						